



## 内視鏡手術支援ロボット ダビンチご紹介

～より高精度で身体への負担が少ない手術が可能になりました～

ダビンチは「ロボット」「コンピューター」「光学」の各技術を応用して、患者さまの体への負担が少ない(低侵襲)手術を支援する医療機器です。

### ダビンチのここがスゴイ!

○術後の痛みが少なく、回復が早い手術です。

ダビンチ手術は、内視鏡や鉗子を挿入するための5-12mmの穴を開けて腹腔鏡下で手術を行いますので、開腹手術と比較して傷口は小さく出血量も少なく身体への負担が少ない手術です。

○人間の手では実現困難な極めて繊細な手術操作が可能です。

自在に動く鉗子は360°以上回転することができ、人間の手の動きで対応しきれない繊細な動きが可能です。繊細な手術操作を生かした、より高精度な手術が可能です。

○バイोजェット(MRI画像と超音波画像を融合する機器)を併用することでより多くの神経組織等を温存できる可能性が広がります。

前立腺がんのダビンチ手術を行う場合に、バイोजェットで記録した画像をダビンチの操作画面に表示することができ、がん病巣から十分な距離が確認できる場合はより多くの神経組織などを温存できる可能性が広がります。また、従来の術式以上に完全に病巣を切除できる可能性が高まります。



ロボット手術には上述のようなメリットがありますが、触覚がないというデメリットがあります。そのため、術者には機械の操作技術が求められ、定められたトレーニングを修了し、認定資格を有する医師のみが執刀を許可されています。当院には認定資格を有する医師が3名在籍しております。

月曜日の午後には予約制でロボット手術に関する外来を実施しております。この外来ではロボット手術の適応になった方に手術の説明やロボット手術後のアフターフォローを実施しております。

ロボット手術に関してご興味のある方は

是非一度泌尿器科外来までご相談ください。TEL：0721-24-3100(代表)